

# 200/300シリーズマネージドスイッチの初期設定

## 目的

ネットワークスイッチの最も基本的な定義は、接続されたデバイスからメッセージを受信し、別の接続されたデバイスに転送することです。200/300シリーズスイッチは、より特殊で複雑なタスクに対応できます。スイッチを設定する1つの方法は、グラフィカルユーザインターフェイス(GUI)を使用することです。この記事では、GUIにアクセスして200/300シリーズマネージドスイッチのIPアドレスを設定する方法について説明します。

## 適用可能なデバイス

- SF/SG 200およびSF/SG 300シリーズマネージドスイッチ

## [Software Version]

- v1.2.7.76

## グラフィカルユーザインターフェイス(GUI)へのアクセス

ステップ 1：スイッチを電源に接続してオンにします。スイッチは100 ~ 240 Vの範囲の電圧を受け入れます。

ステップ 2：イーサネットケーブルの一方の端をコンピュータに接続し、もう一方の端をスイッチの使用可能なポートに接続します。

ステップ 3：スイッチのIPアドレスと同じサブネット内のIPアドレスを使用してコンピュータを設定するには、次の2つの方法のいずれかを実行します。

- スタティック：スイッチと同じサブネット内のスタティックIPアドレスをコンピュータに割り当てます。スイッチのデフォルトのIPアドレスは192.168.1.254です。つまり、使用されていない192.168.1.2 ~ 192.168.1.253のIPアドレスを選択する必要があります。
- ダイナミック：スイッチとコンピュータの両方に接続されているDHCPサーバを使用します。DHCPサーバは、コンピュータとスイッチのIPアドレスを割り当てます。

注：工場出荷時のデフォルトのIPアドレス192.168.1.254が使用されている場合、システムLEDが緑色に点滅し続けます。デフォルトのIPアドレスが使用されていない場合、システムLEDは緑色に点灯したままになります。

ステップ 4：Webブラウザウィンドウを開きます。

ステップ 5：アドレスバーにスイッチのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。マネージドスイッチのログインページが開きます。

The image shows the login interface for a Cisco Switch. On the left, there is a logo consisting of a stylized 'C' made of vertical bars of varying heights, followed by the word 'Switch' in a large font and 'CISCO' in a smaller font below it. On the right, there are three input fields: 'Username:' with 'cisco' entered, 'Password:' with '.....' entered, and 'Language:' with a dropdown menu showing 'English'. Below these fields is a 'Log In' button.

手順 6：Usernameフィールドにユーザ名を入力します。デフォルトのユーザ名はciscoです。

手順 7：Passwordフィールドにパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは cisco です。パスワードでは大文字と小文字が区別されます。

ステップ 8：Languageドロップダウンリストから目的の言語を選択します。

ステップ 9：Log Inをクリックして、デバイスにログインします。

## スイッチのIPアドレスの変更

### 方法1:TCP/IP設定の静的な割り当て

ステップ1：スイッチのGUIにアクセスし、「グラフィカルユーザインターフェイス(GUI)へのアクセス」セクションの説明に従ってログインします。

ステップ 2：Getting Startedをクリックします。Getting Startedページが開きます。

# Getting Started

This page provides easy steps to configure your device



## Initial Setup

[Change Management Applications and Services](#)

[Change Device IP Address](#)

[Create VLAN](#)

[Configure Port Settings](#)



## Device Status

[System Summary](#)

[Port Statistics](#)

[RMON Statistics](#)

[View Log](#)

Other resources: [Support](#) | [Forums](#)



Do not show this page on startup

ステップ 3 : Change Device IP Addressをクリックして、スイッチのIPアドレスを変更します。 IPv4インターフェイスページが開きます。

### IPv4 Interface

Management VLAN:	<input type="text" value="1"/>
IP Address Type:	<input type="radio"/> Dynamic <input checked="" type="radio"/> Static
✱ IP Address:	<input type="text" value="192.0.2.18"/>
✱ Mask:	<input checked="" type="radio"/> Network Mask <input type="text" value="255.255.255.0"/> <input type="radio"/> Prefix Length <input type="text" value=""/> (Range: 8 - 30)
Administrative Default Gateway:	<input checked="" type="radio"/> User Defined <input type="text" value="192.0.2.100"/> <input type="radio"/> None
Operational Default Gateway:	
Renew IP Address Now:	<input type="checkbox"/> Enable
Auto Configuration via DHCP:	Enabled

ステップ 4 : Management VLAN ドロップダウンリストからVLAN番号を選択します。スイッチのGUIにアクセスできるのは、管理VLAN上のデバイスだけです。スイッチのデフォルトの管理VLANはVLAN1です。VLANについては、『200/300シリーズマネージドスイッチでのVLAN設定』を参照してください。

ステップ 3 : IP Address Type フィールドのStatic オプションボタンをクリックして、IP アドレスを手動で割り当てます。

ステップ 4 : IP Address フィールドにスイッチの目的のIPアドレスを入力します。

ステップ 5 : Mask フィールドで、サブネットマスクの決定に使用する方法に対応するオプションボタンをクリックします。

手順 6 : Administrative Default Gateway フィールドで、管理デフォルトゲートウェイの決定に使用する方法に対応するオプションボタンをクリックします。

- Network Mask: IP アドレスマスクを入力します。
- Prefix Length: IP アドレスのプレフィクス長を入力します。
- User Defined : デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。

- None : デフォルトゲートウェイは設定されません。デフォルトゲートウェイが選択されていない場合、スイッチはスイッチのIPサブネット外にあるデバイスと通信できません。

手順 7 : [Apply] をクリックして設定を保存します。

## 方法2:TCP/IP設定を動的に割り当てる

ステップ1 : スwitchのGUIにアクセスし、「グラフィカルユーザインターフェイス(GUI)へのアクセス」セクションの説明に従ってログインします。

ステップ 2 : Getting Startedをクリックします。Getting Startedページが開きます。

# Getting Started

This page provides easy steps to configure your device



## Initial Setup

[Change Management Applications and Services](#)

[Change Device IP Address](#)

[Create VLAN](#)

[Configure Port Settings](#)



## Device Status

[System Summary](#)

[Port Statistics](#)

[RMON Statistics](#)

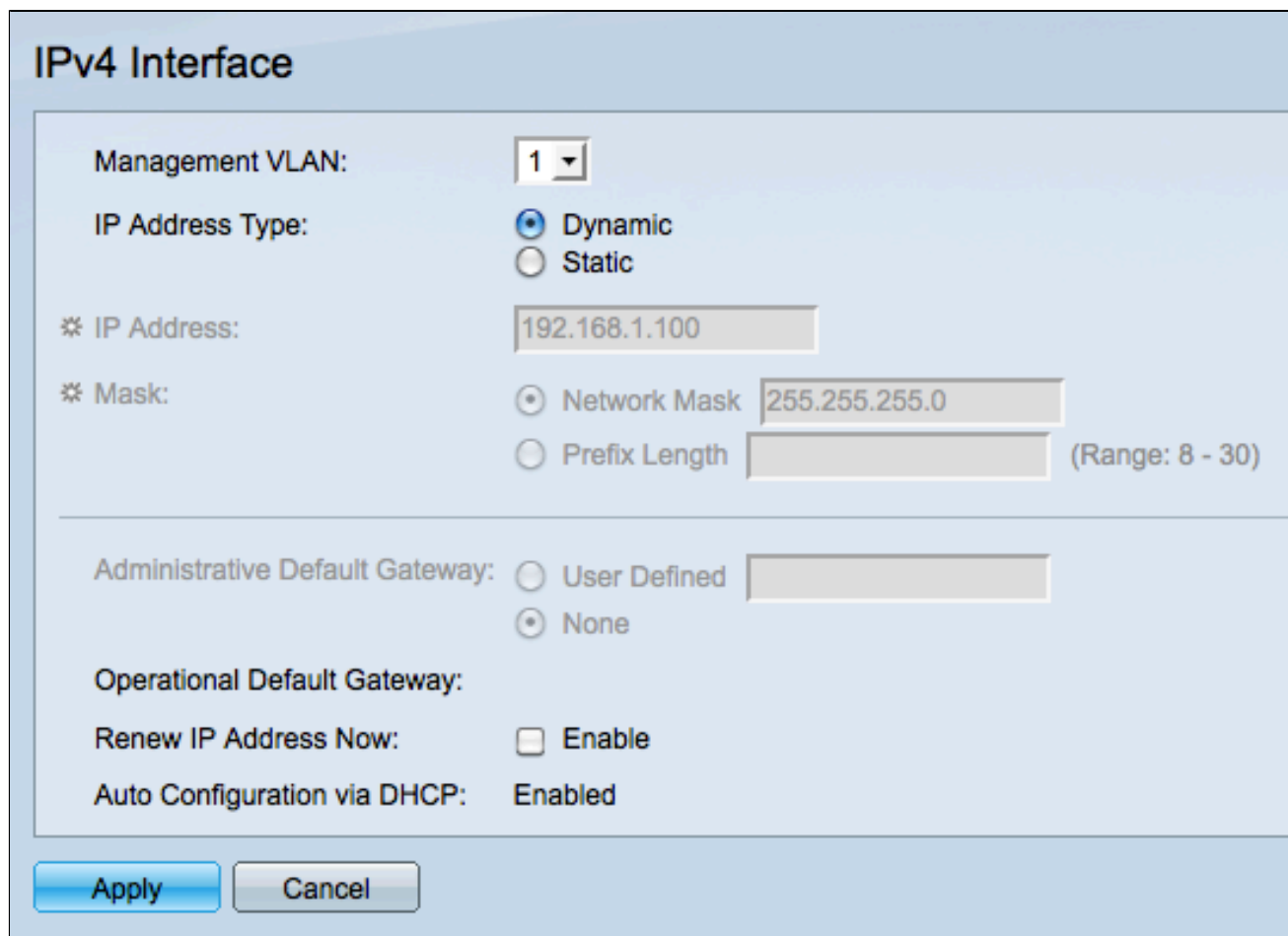
[View Log](#)

Other resources: [Support](#) | [Forums](#)



Do not show this page on startup

ステップ 3 : Change Device IP Addressをクリックして、スイッチのIPアドレスを変更します。 IPv4インターフェイスページが開きます。

The image shows a configuration window titled "IPv4 Interface". It contains several settings: "Management VLAN:" with a dropdown menu showing "1"; "IP Address Type:" with radio buttons for "Dynamic" (selected) and "Static"; "IP Address:" with a text field containing "192.168.1.100"; "Mask:" with radio buttons for "Network Mask" (selected) and "Prefix Length", with a text field containing "255.255.255.0" and a note "(Range: 8 - 30)"; "Administrative Default Gateway:" with radio buttons for "User Defined" and "None" (selected); "Operational Default Gateway:" with an empty text field; "Renew IP Address Now:" with a checkbox for "Enable" (unchecked); and "Auto Configuration via DHCP:" with the text "Enabled". At the bottom are "Apply" and "Cancel" buttons.

**IPv4 Interface**

Management VLAN: 1

IP Address Type: ☒ Dynamic ☐ Static

\* IP Address: 192.168.1.100

\* Mask: ☒ Network Mask 255.255.255.0 ☐ Prefix Length (Range: 8 - 30)

Administrative Default Gateway: ☐ User Defined ☒ None

Operational Default Gateway:

Renew IP Address Now: ☐ Enable

Auto Configuration via DHCP: Enabled

Apply Cancel

ステップ 4 : Management VLAN ドロップダウンリストから VLAN 番号を選択します。スイッチの GUI にアクセスできるのは、管理 VLAN 上のデバイスだけです。スイッチのデフォルトの管理 VLAN は VLAN1 です。VLAN については、『200/300 シリーズ マネージド スイッチでの VLAN 設定』を参照してください。

ステップ 5 : IP Address Type フィールドの Dynamic オプションボタンをクリックして、IP アドレスをダイナミックに割り当てます。

ステップ 6: ( オプション ) Renew IP Address Now フィールドの Enable チェックボックスにチェックマークを入れて、スイッチの IP アドレスを更新します。

Auto Configuration via DHCP フィールドには、自動設定機能のステータスが表示されます。詳細については、『200/300 シリーズ マネージド スイッチでの Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) サーバの自動設定』を参照してください。

手順 7 : [Apply] をクリックして設定を保存します。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。